

皆さん、おはようございます。仕事納めに当たりまして、一言、ご挨拶申し上げます。

今年を振り返りますと、世界的に大きな動きがあった年だったなあという感じがします。

欧州では、イギリスのEU離脱が起り、それによるいろいろなやりとりが欧州ではまだ続いています。

米国では、トランプ氏が次期大統領となりましたが、トランプ氏の言動がこれまでの米国政府の考え方と相当異なっており、日本や欧州などで、「米国は一体、どうなっていくのか」といった不安や疑念も出ているようであります。

アジアにおきましても、韓国、中国、インドなどアジアの国々の内政、経済、外交等の動きにも目が離せません。

これらの動きは、いずれも日本にも一定の影響を及ぼす可能性があります。

次に、日本の中では、多くの大きな災害があった年でした。

4月には、死者50人以上となった「熊本地震」、8月には、岩手、北海道で死者22人となった「台風10号」、10月には、負傷者23名、住宅被害1万3千棟以上となった「鳥取県中部地震」、11月には、東日本沿岸に津波が発生した「福島沖地震」。

こうした世界全体の動きや日本の中の災害などは、現時点で島根に大きな被害や問題をもたらしている訳ではありませんが、私どもは常に頭に入れて対応を考えておく必要があるように思います。

さて、こうした中、島根では、うれしいことも沢山ありました。ひとつは、若い人の活躍であります。

7月～8月の全国高等学校総合体育大会では、多くの島根県選手が活躍しました。

リオデジャネイロ・オリンピック、パラリンピックでは、錦織圭選手がテニスとしては96年ぶりにメダルを獲得しました。

また、今年は例年以上に中高生のスポーツでの活躍が多くありました。

なぎなた女子個人、女子ラグビー、陸上、ゴルフ女子、テニス女子、カヌー、ソフトテニス。

もうひとつのうれしいことは、島根の豊かさ、良さが県外の人々によく知られるようになり、観光客が大変増えてきたということです。

昨年の松江城天守の国宝の指定や津和野に続き、「出雲の國のたたら」が日本遺産への登録がありました。

石見銀山は、来年、世界遺産登録10周年になります。

ユネスコ世界ジオパーク認定されている隠岐は、有人国境離島の大切な役割が国に認められ、新たな国の支援が来年度から実施されます。

島根の豊かさ、良さをPRしてきましたが、少しずつ効果が出てきて、観光客が増え始めているように思います。

特に、出雲大社の遷宮を機に、縁結びの国だということが段々知られ、全国から多くの女性がお参りに来られるようになっていきます。

飛行機の便数が増えたり、尾道松江線の完成があり、また、県西部も高速道路が着実に進展してきています。こうした交通の改善も寄与していると思います。

様々なことがあって、島根の存在が日本の中で知られるようになり、多くの人々が来られるようになって、そういうことが目に見えて分かるような時代が始まったように感じます。

こうした島根のプラスのイメージは、県外からの企業立地、UIターンの増加などにもつながるものと思います。

さて、年が明けると、来年度の予算編成作業が本格的に始まります。「総合戦略」の本格的な実施の2年目の予算となります。

総合戦略に盛り込んだ各般の取組みを適切かつ迅速に実施できることが大事でありますので、各部局での検討・調整をよろしくお願いします。

明日から年末年始の休みに入ります。今年は6日間と短い休みとなりますが、皆さんにはゆっくり休養をとられ、英気を養っていただきたいと思います。

そして来年が県民の皆さんにとりまして、明るく、活気のある年となりますよう、県庁一丸となって、取り組んでいきましょう。

終わりに、県民の皆さん、職員の皆さん、それぞれよい年をお迎えになられますよう、お祈り申し上げまして、私の挨拶と致します。